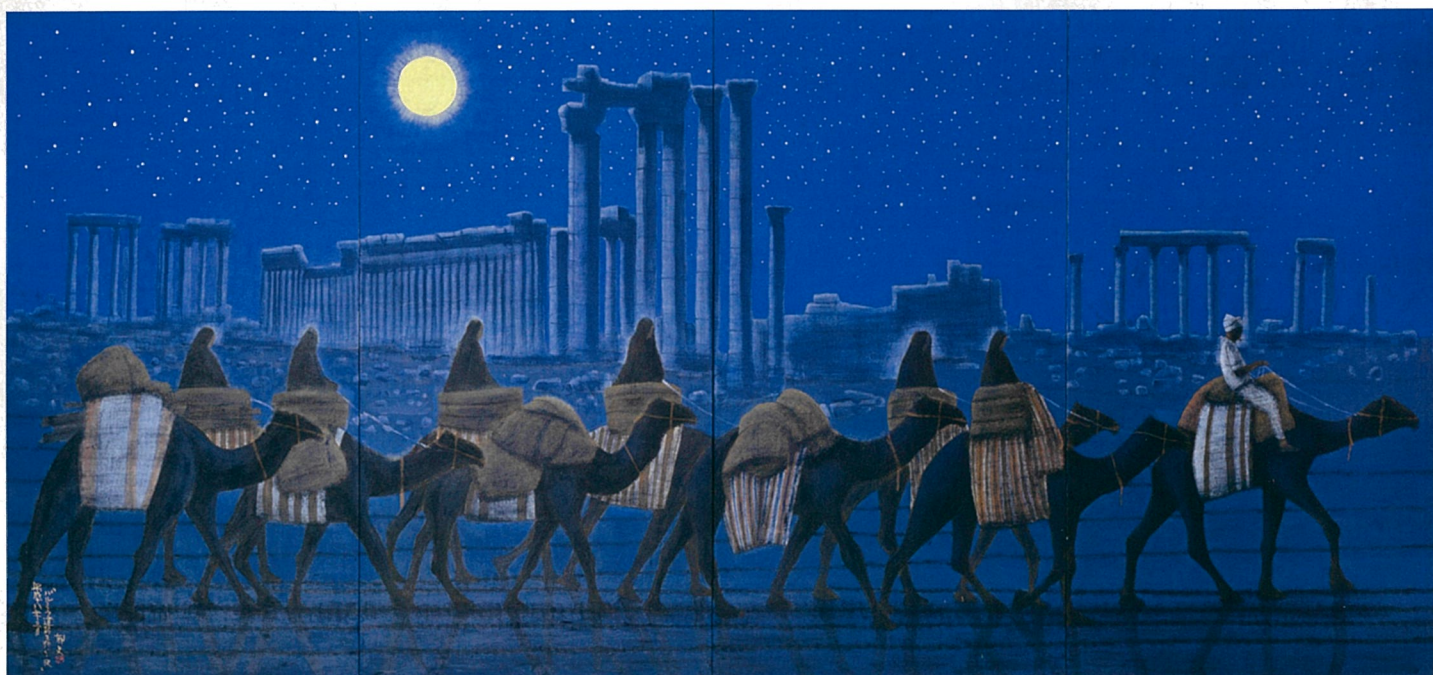


バルミラ遺跡を行く・朝 (2006年)  
平山郁夫シルクロード美術館蔵

パラミタミュージアム開館15周年特別企画

# 平山郁夫展

シルクロードと日本の美



バルミラ遺跡を行く・夜 (2006年)  
平山郁夫シルクロード美術館蔵

■ 会 期 平成29年 9月1日(金) ~ 10月22日(日) ※会期中無休

■ 開館時間 午前9時30分~午後5時30分(最終入館は午後5時まで)

■ 入館料 一般1,000円(4枚セット券3,000円)/  
大学生800円/高校生500円/中学生以下無料

■ 主 催 公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム、平山郁夫美術館

■ 後 援 中日新聞社、伊勢新聞社、読売新聞社、朝日新聞社、  
NHK津放送局、三重テレビ放送

■ 企画制作 NHKプラネット近畿

## 関連イベント

■ 記念講演会 9月1日(金) 午後2時30分~  
講師: 平山助成氏(平山郁夫美術館館長)

■ 作品解説 9月17日(日) 午後2時~  
講師: 幸野昌賢氏(平山郁夫美術館学芸員)

■ コンサート 9月24日(日) 午後2時~  
沈兵(シェンピン) 揚琴の世界~音で紡ぐシルクロード



パラミタミュージアム  
開館15周年特別企画

# 平山郁夫展 シルクロードと日本の美

「美を描き、美を救う」活動を精力的に続けられていた日本画壇の重鎮、平山郁夫は2009(平成21)年12月2日に逝去されました。画壇での数々の業績だけでなく、人類が残した文化遺産の保存修復活動などに貢献された稀有な画家でした。

平山は広島県豊田郡(現尾道市)瀬戸田町に生まれ、幼い日々、瀬戸内海の穏やかな自然と風土に育まれました。少年時代を過ごした故郷の風景をこよなく愛し、故郷の美は、画家としての原点となりました。やがて日本各地の美に目を向けます。

一方、平山は1945(昭和20)年、15歳の時に勤労動員先の広島市内で被爆し、後遺症に苛まれながら画家の道を歩みます。そうした自らの被爆

体験に基づき、仏教への深い思いと平和への切実な祈りをこめて独自の画境を切り拓いてまいりました。

仏教への関心は、玄奘三蔵が歩んだシルクロードへの追体験となり、日本文化の源流を訪ね、描く壮大な芸術展開へとつながったのでした。さらにシルクロードから世界の戦跡へ、ユネスコ親善大使として世界遺産の保存救済などへ文化活動が広がり、国際的な「文化財赤十字」活動を実践しました。

本展では画期的な画業となった「シルクロード」作品を始め、「日本の美」や、画伯の原点といえる「故郷や瀬戸内海」などを描いた作品を厳選し展示するものです。平山芸術における日本画のこころと、絵に託した平和の祈り約100点を紹介します。



アンコールワットの月(1993年) 平山郁夫美術館蔵



亜羅比亞の翁(1972年) 平山郁夫美術館蔵



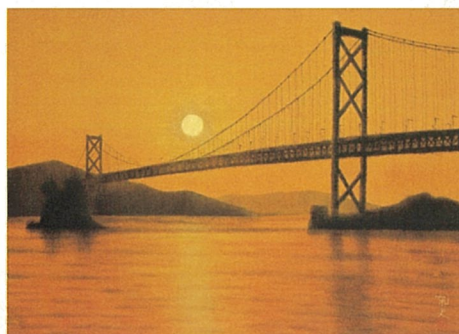
求法高僧東帰図(1964年) 平山郁夫美術館蔵



シルクロード パミール高原に行く(2001年) 平山郁夫美術館蔵



熊野路(古道)(1991年) 早稲田大学図書館蔵



因島大橋 夕陽(1999年) 平山郁夫美術館蔵



バーミアン大石仏を偲ぶ(2001年) 平山郁夫美術館蔵

## 次回展示のお知らせ

会期 平成29年10月28日(土) ~ 12月25日(日) 並河靖之七宝展

明治中期、日本の工芸界は華麗な花を咲かせ、当時開催された国内外の万国博覧会では様々な分野で賞を獲得し世界の注目を一斉に集めました。中でも七宝は、京都の有線七宝の並河靖之(なみかわ やすゆき/1845~1927)と東京の無線七宝の澁川惣助が並び立ち世界を魅了しました。難しいとされた黒色透明釉や、筆のタッチのような繊細な植線づかいを極め、艶やかな花鳥や叙情的な風景を描きだし、尾張地方から伝えられた泥七宝を独自に発展させ、世界に認められた並河靖之の貴重な作品を紹介します。

■お車をご利用の場合 / 東名阪「四日市I.C.」より国道477号(湯の山街道)を湯の山方面へ約6.5km。 ■無料駐車場有り(普通車100台、大型バス駐車可)  
■電車をご利用の場合 / 近鉄「四日市駅」下車、近鉄湯の山線に乗り換え約25分、「大羽根園駅」下車、西へ300m。 ■全館バリアフリー、車椅子常備



paramitamuseum

公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム 〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6

Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077 E-mail office@paramitamuseum.com

http://www.paramitamuseum.com Facebook www.facebook.com/paramitamuseum Twitter @paramita\_muse

パラミタミュージアム 検索